

高等学校 商業

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 ~大問 については、マーク式解答用紙に、大問 については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 ~大問 の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「3」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 次の(1)～(10)の問いに答えよ。

- (1) 高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)解説商業編 第1章 総説 第3節「商業科の目標」の文章中の(ア)～(ウ)に入る最も適切な語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- [1] 商業の各分野について(ア)に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
[2] ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ(イ)に解決する力を養う。
[3] 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に(ウ)に取り組む態度を養う。

- | | | | |
|---|--------------|--------------|--------------|
| 1 | (ア) 主体的かつ協働的 | (イ) 体系的・系統的 | (ウ) 合理的かつ創造的 |
| 2 | (ア) 合理的かつ創造的 | (イ) 体系的・系統的 | (ウ) 主体的かつ協働的 |
| 3 | (ア) 体系的・系統的 | (イ) 合理的かつ創造的 | (ウ) 主体的かつ協働的 |
| 4 | (ア) 体系的・系統的 | (イ) 主体的かつ協働的 | (ウ) 合理的かつ創造的 |
| 5 | (ア) 主体的かつ協働的 | (イ) 合理的かつ創造的 | (ウ) 体系的・系統的 |

- (2) 高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)解説商業編 第2章 商業科の各科目 第7節「観光ビジネス」の文章中の()に入る最も適切な語句はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

この科目は、()を担うよう、観光ビジネスについて実践的・体験的に理解し、国内に在住する観光客及び海外からの観光客を対象とした観光ビジネスを展開するために必要な資質・能力を育成する視点から新たに設けたものであり、観光資源と観光政策、観光ビジネスとマーケティング、観光ビジネスの展開と効果などの指導項目で構成した。

- 1 地域の流通
- 2 地域の経営管理
- 3 地域の情報化
- 4 地域の活性化
- 5 地域のグローバル化

(3) 次の(ア)から(エ)の文章のうち、下線部が正しいものの組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

(ア) IPアドレスを構成するビット列のうち、ネットワーク上のコンピュータを識別する部分を ホストアドレス という。

(イ) 自分あての電子メールを自分のパソコンに受信する際に使用されているプロトコルを SMTP という。

(ウ) ネットワーク上でプロトコルが異なる複数のデータを相互に変換し、通信を可能とするための機器は IOT である。

(エ) IPアドレスなどの設定情報をパソコンが起動したときに自動的に割り当てるためのサーバを DHCPサーバ という。

1 (ア)、(イ)

2 (ア)、(エ)

3 (イ)、(ウ)

4 (イ)、(エ)

5 (ウ)、(エ)

(4) 2進数1100101と2進数1100011がある。この2つの2進数の和を16進数であらわしたものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1 AB

2 BC

3 A8

4 B8

5 C8

(5) 次の 1～5 の法律のうち、訪問販売や通信販売などにおける、事業者による違法・悪質な勧誘行為等を防止し、消費者の利益を守ることを目的とする法律はどれか。1～5 から一つ選べ。

解答番号は

- 1 特定商取引法
- 2 独占禁止法
- 3 製造物責任法
- 4 金融商品取引法
- 5 不正競争防止法

(6) 次の文章の(ア)～(ウ)に入る最も適切な語句の正しい組合せはどれか。1～5 から一つ選べ。

解答番号は

プロモーションの手段として、広告、販売促進、イベント、PR活動、人的販売などがあり、このような手段を組み合わせて複合的に活用することを(ア)という。組み合わせの方針には、二つの戦略があり、販売交渉やリベートなどの販売促進、実演販売などのイベント支援を通じて流通業者等が顧客に商品を売り込む(イ)戦略と、メーカーが大規模広告を用いて顧客へ直接訴求を行い、顧客の需要をもとに流通業者がメーカーに注文する(ウ)戦略がある。

- | | | |
|--------------------|----------|----------|
| 1 (ア) マーケティング・ミックス | (イ) プッシュ | (ウ) ブランド |
| 2 (ア) マーケティング・ミックス | (イ) プル | (ウ) プッシュ |
| 3 (ア) マーケティング・ミックス | (イ) ブランド | (ウ) プル |
| 4 (ア) プロモーション・ミックス | (イ) プッシュ | (ウ) プル |
| 5 (ア) プロモーション・ミックス | (イ) ブランド | (ウ) プッシュ |

(7) 次の文章の(ア)～(ウ)に入る最も適切な語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

証券会社の業務内容として、顧客から株式や社債などの有価証券の売買の注文を受けて証券取引所に取り次ぐ(ア)業務がある。また、証券会社が自己資金で株式や社債などの有価証券を売買し、有価証券売却益の獲得をめざす(イ)業務や新たに株式や社債などが発行される時、発行会社の委託を受けて募集売出しを行う(ウ)業務がある。その他に、企業や地方自治体などが、株式や公債などを発行して資金調達する際に、証券会社はその全部または一部を引き受けて、その後、投資家に販売する業務がある。

- | | | | |
|---|------------|----------------|----------------|
| 1 | (ア) ディーリング | (イ) セリング | (ウ) アンダーライティング |
| 2 | (ア) ディーリング | (イ) アンダーライティング | (ウ) ブローカー |
| 3 | (ア) セリング | (イ) ブローカー | (ウ) アンダーライティング |
| 4 | (ア) セリング | (イ) アンダーライティング | (ウ) ブローカー |
| 5 | (ア) ブローカー | (イ) ディーリング | (ウ) セリング |

(8) 次の文章の(ア)～(ウ)に入る最も適切な語句の正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

財政には、次の3つの機能がある。1つめは(ア)であり、税金や国債の発行などによって得た資金で道路や公園などの社会資本の整備や、警察や消防といった公共サービスの提供をおこなっている。2つめは(イ)であり、例えば失業状態にある人に対して失業保険を給付したり、累進課税制度などにより国民の経済格差を埋めたりする。3つめは(ウ)であり、景気が過熱した際には公共事業を減らしたり、逆に景気が減退しているときには公共事業を増やしたりする。

- | | | | |
|---|------------|-------------|-------------|
| 1 | (ア) 交換機能 | (イ) 価値尺度機能 | (ウ) 景気安定化機能 |
| 2 | (ア) 資源配分機能 | (イ) 価値尺度機能 | (ウ) 価値保存機能 |
| 3 | (ア) 交換機能 | (イ) 所得再分配機能 | (ウ) 価値保存機能 |
| 4 | (ア) 資源配分機能 | (イ) 所得再分配機能 | (ウ) 景気安定化機能 |
| 5 | (ア) 資源配分機能 | (イ) 所得再分配機能 | (ウ) 価値保存機能 |

(9) 次の(ア)～(オ)の文章のうち、正誤の組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ
選べ。解答番号は

(ア) 当期純利益が発生する場合、手持ち現金を用いて、自社株買いを行う前と後では、自社株買い
を行った後の方が株主資本当期純利益率は高くなる。

(イ) 税金等調整前当期純損失が発生した場合、間接法によるキャッシュ・フロー計算書における「営
業活動によるキャッシュ・フロー」は必ずマイナスとなる。

(ウ) 配当性向と配当利回りはどちらも株主に利益をどれだけ還元したかを示す指標である。

(エ) 同じ会社の同じ期の売上原価率と売上高総利益率を合わせると必ず100%になる。

(オ) 売上債権回転率・仕入債務回転率とも原則として低いほうが望ましい。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | (ア) 正 | (イ) 誤 | (ウ) 正 | (エ) 誤 | (オ) 正 |
| 2 | (ア) 誤 | (イ) 誤 | (ウ) 正 | (エ) 正 | (オ) 誤 |
| 3 | (ア) 正 | (イ) 誤 | (ウ) 誤 | (エ) 正 | (オ) 誤 |
| 4 | (ア) 正 | (イ) 正 | (ウ) 誤 | (エ) 正 | (オ) 正 |
| 5 | (ア) 誤 | (イ) 正 | (ウ) 正 | (エ) 誤 | (オ) 正 |

(10) 次の(ア)～(オ)の文章のうち、正誤の組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ
選べ。解答番号は

(ア) わが国の政府が発行する貨幣は、1回の取引につきそれぞれの額面金額の20倍までの強制通用
力が定められている。

(イ) 利息の計算方法には2種類あり、そのうち一定期間ごとに利息を元金に繰り入れて、その元利
合計を次期の元金として利息を計算する方法を単利法という。

(ウ) 企業が利害関係者に対して財務諸表を開示する前に、独立した外部の公認会計士が決算書を調
べ、不正や誤った処理をしていないかチェックすることを確定申告という。

(エ) ビジネスでは3,889,876円のようにすべての数を示すのではなく、内容を的確に理解させるた
めに約390万円といったおよその数で示すために、そのおよその数を計算して求めることを概算
という。

(オ) 小切手の不正使用防止のために表面に2本の平行線を引き、平行線のなかに指定の銀行名を記
入した小切手を特定線引小切手という。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | (ア) 誤 | (イ) 誤 | (ウ) 正 | (エ) 誤 | (オ) 誤 |
| 2 | (ア) 正 | (イ) 誤 | (ウ) 誤 | (エ) 正 | (オ) 正 |
| 3 | (ア) 誤 | (イ) 誤 | (ウ) 誤 | (エ) 正 | (オ) 誤 |
| 4 | (ア) 正 | (イ) 正 | (ウ) 誤 | (エ) 正 | (オ) 誤 |
| 5 | (ア) 誤 | (イ) 正 | (ウ) 正 | (エ) 誤 | (オ) 正 |

2 次の(1)～(9)の問いに答えよ。

(1) 次の資料から、工事進行基準によって、当期の工事収益の金額として、正しいものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

資 料

① 工事収益総額	¥460,000,000
② 工事原価総額	¥390,000,000
③ 工事期間	4年
④ 当期発生工事原価	¥117,000,000

- 1 ¥ 70,000,000
- 2 ¥ 115,000,000
- 3 ¥ 138,000,000
- 4 ¥ 168,000,000
- 5 ¥ 273,000,000

(2) 元金¥49,560,000を年利率2.36%の単利で令和5年7月15日から令和5年10月21日まで借り入れると、期日に支払う利息の金額として正しいものはどれか。

1～5から一つ選べ。

ただし、(平年、片落とし、円未満切り捨て)とする。解答番号は

- 1 ¥ 310,830
- 2 ¥ 314,033
- 3 ¥ 314,034
- 4 ¥ 317,239
- 5 ¥ 317,240

(3) 次の資料から、売価還元法による期末商品棚卸高（原価）の金額として、正しいものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

資 料	原 価	売 価
i 期首商品棚卸高	¥ 278,000	¥ 346,000
ii 当期純仕入高	¥ 1,609,000	¥ 2,170,000
iii 期末商品棚卸高	<input type="text"/>	¥ 412,000

- 1 ¥ 217,000
- 2 ¥ 227,000
- 3 ¥ 289,000
- 4 ¥ 307,000
- 5 ¥ 309,000

(4) 等級別総合原価計算を採用しているA工業株式会社において、1級製品400個と2級製品600個が完成するとともに副産物が発生した。ただし、総合原価は¥780,000であり、そのうち副産物の評価額は¥300,000であった。なお、等価係数は次の各製品1個あたりの重量を基準としている。1級製品の製造原価の金額として、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

製品1個あたりの重量 1級製品 150g 2級製品 100g

- 1 ¥ 240,000
- 2 ¥ 312,000
- 3 ¥ 390,000
- 4 ¥ 432,000
- 5 ¥ 540,000

(5) B工業株式会社は、直接原価計算をおこない利益計画をたてている。次の資料から、損益分岐点の売上高の金額として、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

資 料	
① 販売単価	¥1,250
② 製造費用	
変動製造費（製品1個あたり）	¥750
固定製造間接費	¥770,000
③ 販売費及び一般管理費	
変動販売費（製品1個あたり）	¥100
固定販売費及び一般管理費	¥230,000

- 1 ¥1,925,000
- 2 ¥2,125,000
- 3 ¥2,725,000
- 4 ¥2,925,000
- 5 ¥3,125,000

(6) 単純総合原価計算を採用しているC製作所の次の資料から、月末仕掛品原価の金額として、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

ただし、i 素材は製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。

ii 月末仕掛品原価の計算は先入先出法による。

iii 正常減損は製造工程の始点で発生しており、正常減損費は完成品と月末仕掛品の両方に負担させる。

資 料

① 生産データ

月初仕掛品	400kg	(加工進捗度 50%)
当月投入	5,250kg	
合計	5,650kg	
月末仕掛品	500kg	(加工進捗度 60%)
正常減損	150kg	
完成品	5,000kg	

② 月初仕掛品原価

素材費	¥ 345,000
加工費	¥ 235,000

③ 当月製造費用

素材費	¥ 3,213,000
加工費	¥ 4,437,000

- 1 ¥ 261,000
- 2 ¥ 306,000
- 3 ¥ 315,000
- 4 ¥ 567,000
- 5 ¥ 576,000

(7) 標準原価計算を採用しているD製作所の当月における次の資料から、材料消費数量差異、賃率差異の金額として、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

ただし、直接材料は製造着手のときにすべて投入されるものとする。

資 料

i 標準原価カード

Y製品		標準原価カード	
	標準消費数量	標準単価	金額
直接材料費	3 kg	¥900	¥2,700
	標準直接作業時間	標準賃率	
直接労務費	2時間	¥700	¥1,400
	標準直接作業時間	標準配賦率	
製造間接費	2時間	¥300	¥600
	製品1個あたりの標準原価		¥4,700

ii 生産データ

月初仕掛品	150個	(加工進捗度 60%)
当月投入	4,550個	
合計	4,700個	
月末仕掛品	200個	(加工進捗度 50%)
完成品	4,500個	

iii 実際直接材料費 ¥12,696,000

実際消費数量 13,800kg

実際単価 ¥920

iv 実際直接労務費 ¥6,222,000

実際直接作業時間 9,150時間

実際賃率 ¥680

- | | | | | |
|---|----------|-----------------|------|-----------------|
| 1 | 材料消費数量差異 | ¥135,000 (不利差異) | 賃率差異 | ¥180,400 (有利差異) |
| 2 | 材料消費数量差異 | ¥135,000 (不利差異) | 賃率差異 | ¥183,000 (有利差異) |
| 3 | 材料消費数量差異 | ¥138,000 (有利差異) | 賃率差異 | ¥180,400 (不利差異) |
| 4 | 材料消費数量差異 | ¥138,000 (不利差異) | 賃率差異 | ¥180,400 (有利差異) |
| 5 | 材料消費数量差異 | ¥138,000 (不利差異) | 賃率差異 | ¥183,000 (不利差異) |

(8) 個別原価計算を採用しているE製作所の8月末における素材の实地棚卸数量は420kgであった。よって、次の素材に関する8月の資料にもとづいて、計上する棚卸減耗損（棚卸減耗費）の金額として、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

ただし、消費数量は2,510kgである。なお、消費単価の計算は総平均法によっている。

資 料						
8月	1日	前月繰越	600kg	1kgにつき	¥520	¥312,000
	10日	仕入	1,200kg	1kgにつき	¥530	¥636,000
	20日	仕入	1,000kg	1kgにつき	¥540	¥540,000
	25日	仕入	200kg	1kgにつき	¥540	¥108,000

- 1 ¥36,400
- 2 ¥37,100
- 3 ¥37,240
- 4 ¥37,275
- 5 ¥37,800

(9) 個別原価計算を採用しているF製作所は、製造間接費について公式法変動予算により予算を設定し、予定配賦をおこなっている。次の資料から当月の実際操業度における予算額として、正しいものはどれか。1～5から選べ。

解答番号は

資 料		
a.	月間の基準操業度（直接作業時間）	2,000 時間
b.	月間の製造間接費予算額	¥3,200,000
	変動費率	¥500
	固定費予算額	¥2,200,000
c.	当月の実際直接作業時間	1,980 時間

- 1 ¥3,160,000
- 2 ¥3,168,000
- 3 ¥3,178,000
- 4 ¥3,190,000
- 5 ¥3,200,000

- 3 次の表は、下の作成条件にしたがって表計算ソフトで作成した、あるフードコート人気コンテストの結果表である。次の(1)～(6)の問いに答えよ。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		フードコート人気コンテスト結果表							
3									
4	店コード	店名	部門	投票数			順位	売上金額	備考
5				1日目	2日目	合計			
6	2018R01	そばの〇〇亭	料理	95	86	181	7位	132,742	○
7	2021K04	バーガー〇〇	軽食	130	122	252	優勝	139,314	○
8	2019R02	ピストロ〇〇	料理	99	111	210	2位	150,288	○
9	2019S02	〇〇クレープ	スイーツ	83	81	164	11位	95,786	○
10	2018K01	〇〇サンドイッチ	軽食	94	105	199	4位	123,717	○
11	2020K03	チキンの〇〇	軽食	91	85	176	8位	99,411	
12	2020S03	甘味〇〇堂	スイーツ	120	77	197	5位	121,593	○
13	2021R04	〇〇丼屋	料理	75	97	172	10位	131,661	○
14	2021S04	ケーキの〇〇	スイーツ	72	101	173	9位	90,712	
15	2020R03	和食〇〇	料理	70	65	135	12位	109,847	○
16	2018S01	〇〇だんご	スイーツ	71	123	194	6位	143,384	○
17	2019K02	豚まんの〇〇	軽食	112	94	206	3位	100,511	○
18									
19	部門別集計表								
20	部門コード	部門	合計投票数	割合					
21	K	軽食	833	36.9%					
22	S	スイーツ	728	32.2%					
23	R	料理	698	30.9%					
24									

【作成条件】

1. 「フードコート人気コンテスト結果表」は、次のように作成する。

〔1〕「店コード」は、次のように構成されている。

例 2018R01 → 2018 R 01

初参加年 部門コード 部門内番号

〔2〕「部門」は、「店コード」の「部門コード」をもとに、「部門別集計表」を参照して表示する。

〔3〕「投票数」の「合計」は、「1日目」から「2日目」までの投票数の合計を求める。

〔4〕「順位」は、「投票数」の「合計」を基準として、降順に順位を求め、1位の場合は『優勝』を表示し、それ以外の場合は順位に『位』を結合して表示する。

〔5〕「備考」は、「店コード」の「初参加年」が2019年以前、または「売上金額」が100,000以上の場合、『○』を表示し、それ以外の場合は何も表示しない。

2. 「部門別集計表」は、次のように作成する。

〔1〕「合計投票数」は、「部門」ごとに「フードコート人気コンテスト結果表」の「投票数」の「合計」の合計を求める。

〔2〕「割合」は、次の式で求める。ただし、小数第3位未満を四捨五入し、%で小数第1位まで表示する。

「合計投票数 ÷ 合計投票数の合計」

(1) C6に設定する式として適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。ただし、この式をC17までコピーする。解答番号は

- 1 =VLOOKUP (MID (A6,1,5) ,A\$21:\$B\$23,2,TRUE)
- 2 =VLOOKUP (MID (A6,5,1) ,A\$21:\$B\$23,2,FALSE)
- 3 =VLOOKUP (MID (A6,1,5) ,A\$21:\$B\$23,1,TRUE)
- 4 =HLOOKUP (MID (A6,5,1) ,A\$21:\$B\$23,2,TRUE)
- 5 =HLOOKUP (MID (A6,5,1) ,A\$21:\$B\$23,1,FALSE)

(2) G6に設定する式として適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。ただし、この式をG17までコピーする。解答番号は

- 1 =IF (RANK (F6,\$F\$6:\$F\$17,1) =1, RANK (F6,\$F\$6:\$F\$17,1) &"位","優勝")
- 2 =IF (RANK (F6,\$F\$6:\$F\$17,1) =1,"優勝",RANK (F6,\$F\$6:\$F\$17,1) + "位")
- 3 =IF (RANK (F6,\$F\$6:\$F\$17,1) =1,"優勝",RANK (F6,\$F\$6:\$F\$17,1) &"位")
- 4 =IF (RANK (F6,\$F\$6:\$F\$17,0) =1,"優勝",RANK (F6,\$F\$6:\$F\$17,0) + "位")
- 5 =IF (RANK (F6,\$F\$6:\$F\$17,0) =1,"優勝",RANK (F6,\$F\$6:\$F\$17,0) &"位")

(3) I6に設定する式として適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。ただし、この式をI17までコピーする。解答番号は

- 1 =IF (AND (VALUE (LEFT (A6,4)) <2019,H6>=100000) ,"" ,"○")
- 2 =IF (OR (VALUE (LEFT (A6,4)) <2019,H6>=100000) ,"" ,"○")
- 3 =IF (OR (VALUE (LEFT (A6,4)) <=2019,H6>=100000) ,"○", "")
- 4 =IF (OR (LEFT (A6,4) <=2019,H6>=100000) ,"○", "")
- 5 =IF (AND (LEFT (A6,4) <2019,H6>=100000) ,"○", "")

(4) C21に設定する式として適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。ただし、この式をC23までコピーする。解答番号は

- 1 =DSUM (\$F\$6:\$F\$17, B21, \$C\$6:\$C\$17)
- 2 =DSUM (B21, \$C\$6:\$C\$17, \$F\$6:\$F\$17)
- 3 =SUMIFS (\$C\$6:\$C\$17, \$F\$6:\$F\$17, B21)
- 4 =SUMIFS (\$F\$6:\$F\$17, \$C\$6:\$C\$17, B21)
- 5 =SUMIFS (B21, \$F\$6:\$F\$17, \$C\$6:\$C\$17)

(5) D21に設定する式として適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。ただし、この式をD23までコピーする。解答番号は

- 1 =ROUND (C21/SUM (\$C\$21:\$C\$23) ,3)
- 2 =ROUNDUP (C21/SUM (\$C\$21:\$C\$23) ,3)
- 3 =ROUNDDOWN (C21/SUM (\$C\$21:\$C\$23) ,3)
- 4 =INT (C21/SUM (\$C\$21:\$C\$23))
- 5 =MOD (C21,SUM (\$C\$21:\$C\$23))

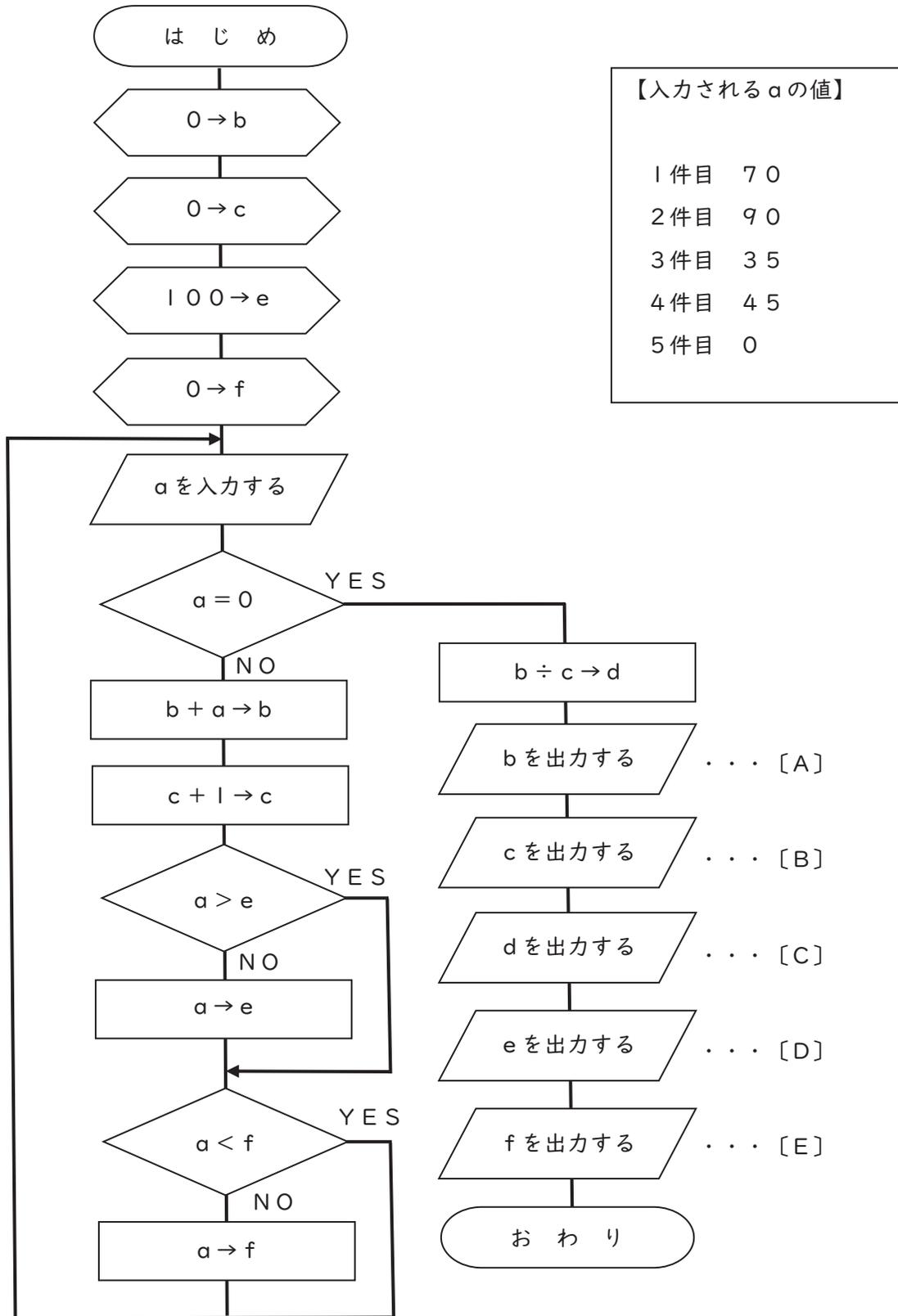
(6) 次の(ア)～(オ)のグラフに関する文章について、正しいもののみをすべて挙げているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- (ア) 棒グラフはデータの大きさを棒の長さであらわして比較するときに用いられる。
- (イ) 折れ線グラフは各要素を異なる色で積み上げて表示するものであり、全体量とその割合を把握するときに用いられる。
- (ウ) 円グラフはデータ全体を円であらわし、全体のなかでどれくらいの割合を占めるのかをあらわすときに用いられる。
- (エ) 散布図は複数のデータがそれぞれ持っている内容を多角的に表現でき、データ全体のバランスを示すときに用いられる。
- (オ) レーダーチャートは二つの要素に対応するデータを点であらわし、要素間の関係や傾向をみるときに用いられる。

- 1 (ア)、(ウ)
- 2 (ア)、(イ)、(ウ)、(エ)
- 3 (ア)、(イ)、(ウ)
- 4 (ウ)、(エ)、(オ)
- 5 (エ)、(オ)

4 次の(1)及び(2)の問いに答えよ。

(1) 下の流れ図にしたがって処理するとき、次の(ア)～(ウ)の問いに答えよ。



(ア) [A]、[B]、[C] の処理で出力される数値の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

	[A]	[B]	[C]
1	48	5	240
2	240	5	48
3	5	240	48
4	4	240	60
5	240	4	60

(イ) [D] の処理で出力される数値はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 35
- 2 45
- 3 70
- 4 90
- 5 100

(ウ) [E] の処理で出力される数値はどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 0
- 2 35
- 3 45
- 4 70
- 5 90

(2) 商品別の売上利益に関するデータを入力して、処理条件にしたがって売上利益の多い順に順位をつけて、実行結果のように表示したい。次の(ア)～(オ)の問いに答えよ。

●入力データ

商品コード (SHO)	売上利益 (RIE)
1	2500
2	3800
3	2600
4	2700
5	2500
6	2800
7	2900
8	3000
9	2300
10	3500
11	2200
12	3900
13	2100
14	4000
15	4100
16	4400
17	2000
18	4000
19	4300
20	4200

●実行結果

(商品コード)	(売上利益)	(順位)
1	2500	15
2	3800	8
3	2600	14
4	2700	13
5	2500	15
6	2800	12
7	2900	11
8	3000	10
9	2300	17
10	3500	9
11	2200	18
12	3900	7
13	2100	19
14	4000	5
15	4100	4
16	4400	1
17	2000	20
18	4000	5
19	4300	2
20	4200	3

●処理条件

〈1〉商品は20種類で、商品コードは1から順番に20まで割り当ててあり、商品コード順に入力されている。

〈2〉売上利益の配列をURIHAIとし、順位づけのための配列をJUNHAIとする。

URIHAI

--	--	--	--	--

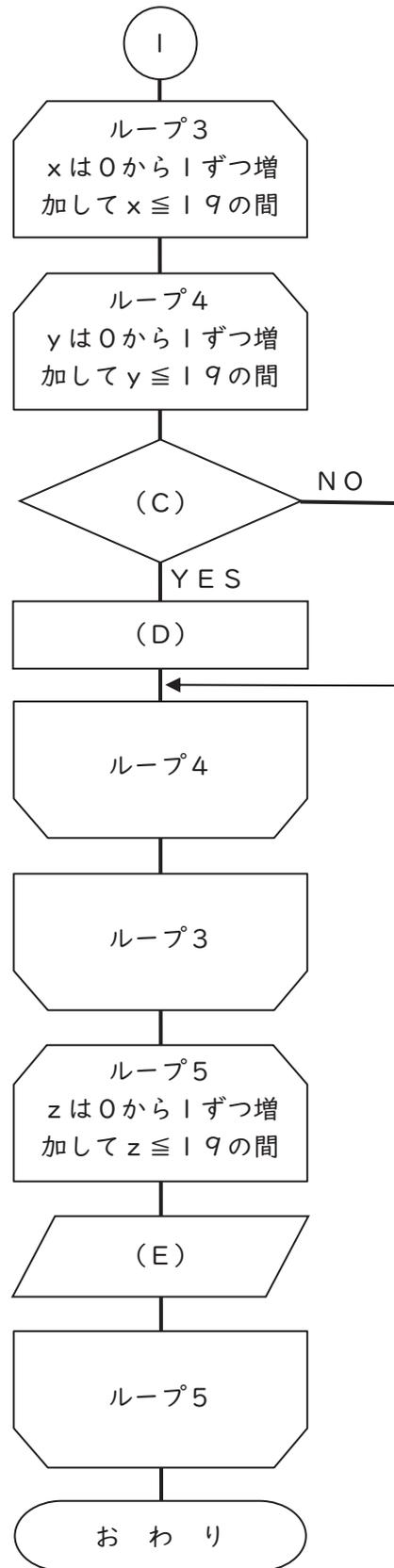
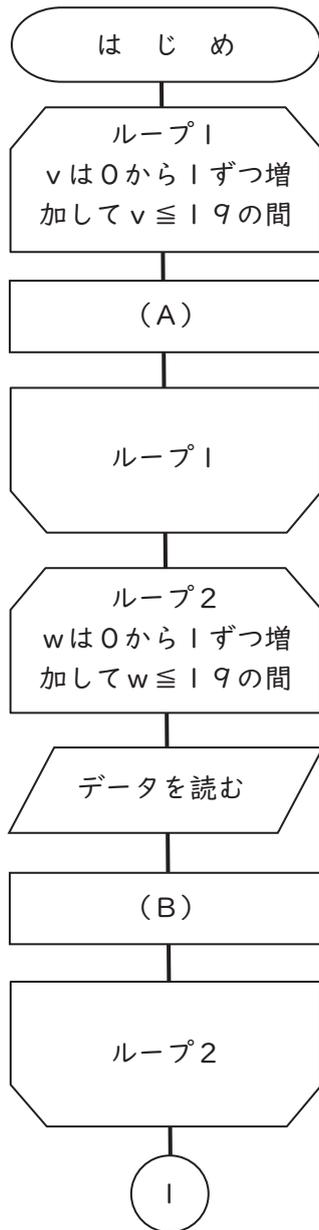
(0) (1) ~ (18) (19)

JUNHAI

--	--	--	--	--

(0) (1) ~ (18) (19)

〈3〉売上利益が同じときは同順位とする。



(ア) 流れ図の (A) にあてはまる記述はどれか。1 ~ 5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 SHO → JUNHAI (v)
- 2 0 → JUNHAI (v)
- 3 I → JUNHAI (v)
- 4 JUNHAI (v) → I
- 5 JUNHAI (v) → 0

(イ) 流れ図の (B) にあてはまる記述はどれか。1 ~ 5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 RIE → URIHAI (w)
- 2 URIHAI (w) → RIE
- 3 URIHAI (w) → SHO
- 4 SHO → URIHAI (w)
- 5 SHO + RIE → URIHAI (w)

(ウ) 流れ図の (C) にあてはまる記述はどれか。1 ~ 5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 URIHAI (x) < URIHAI (x + y)
- 2 URIHAI (y) ≤ URIHAI (x)
- 3 URIHAI (x) < URIHAI (y)
- 4 URIHAI (x) ≤ URIHAI (y)
- 5 URIHAI (x) = URIHAI (y)

(エ) 流れ図の (D) にあてはまる記述はどれか。1 ~ 5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 JUNHAI (y) → JUNHAI (x)
- 2 JUNHAI (y + 1) → JUNHAI (y)
- 3 JUNHAI (x) → JUNHAI (y)
- 4 JUNHAI (x) + 1 → JUNHAI (x)
- 5 JUNHAI (x) + JUNHAI (y) → JUNHAI (y)

(オ) 流れ図の (E) にあてはまる記述はどれか。1 ~ 5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 z、URIHAI (z)、JUNHAI (z) を表示
- 2 z + 1、URIHAI (z)、JUNHAI (z) を表示
- 3 z、URIHAI (z + 1)、JUNHAI (z + 1) を表示
- 4 z + 1、URIHAI (z + 1)、JUNHAI (z + 1) を表示
- 5 SHO、URIHAI (z)、JUNHAI (z) を表示

5 次の(1)及び(2)の問いに答えよ。

(1) 次の(ア)～(カ)の取引の仕訳を示せ。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

勘定科目

現	金	当座預金	受取手形	売買目的有価証券
備	品	建物	構築物	建設仮勘定
備品減価償却累計額		鉱業権	満期保有目的債券	子会社株式
買掛金		支払手形	保証債務	社債
資本金		資本準備金	利益準備金	新築積立金
繰越利益剰余金		仕入割引	有価証券利息	受取利息
有価証券評価益		有価証券売却益	社債償還益	固定資産売却益
売上割引		手形売却損	支払手数料	有価証券売却損
支払利息		創立費	開業費	株式発行費
社債償還損		固定資産売却損	固定資産除却損	

(ア) A商店に関する買掛金¥1,350,000の支払いにあたり、支払期日前のため、契約によって同店から割引を受け、割引額を差し引いた金額¥1,300,000について、小切手を振り出して支払った。

(イ) かねてより建築を依頼していた本社工屋が完成し、引き渡しを受けたので、建築代金¥66,000,000のうち、すでに支払ってある金額を差し引いて、残額¥23,000,000は現金で支払った。なお、取締役会の決議により新築積立金¥66,000,000を取り崩した。

(ウ) B商事株式会社(決算年1回)は、次の条件で発行した社債のうち、額面¥20,000,000を発行後5年目の初頭に額面¥100につき¥98.50で買入償還し、小切手を振り出して支払った。なお、社債の評価は償却原価法(定額法)によっている。

発行条件	額面総額	¥50,000,000	払込金額	額面¥100につき¥97.60
	償還期限	8年	利率	年1.5%

(エ) 売買目的で額面¥5,000,000の社債を額面¥100につき¥97.50で買い入れ、代金は買入手数料¥30,000および端数利息¥15,000とともに小切手を振り出して支払った。

(オ) C株式会社(決算年1回)は、取得原価¥1,250,000の備品を第6期初頭に除却し、廃棄処分した。ただし、この備品は第3期初頭に買入れたもので、定率法により毎期の償却率を40%として減価償却費を計算し、間接法で記帳してきた。なお、この備品の評価額は零(0)である。

(カ) D商事株式会社は、設立にさいし、株式400株を1株につき¥150,000で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、払込金額のうち、資本金に計上しない金額は、会社法に規定する最高限度額とした。なお、設立準備に要した諸費用¥1,560,000は小切手を振り出して支払った。

(2) 次のE製作所における下記の勘定記録と資料により、(ア)～(オ)の金額を求めよ。ただし、会計期間と原価計算期間は一致しているものとする。

製 造			
前期繰越	()	製 品	()
素 材	(ア)	次期繰越	579,000
賃 金	3,680,000		
外注加工賃	(イ)		
製造間接費	2,314,000		
	<u>8,579,000</u>		<u>8,579,000</u>

売上原価			
製 品	(ウ)	製造間接費配賦差異	(エ)
		損 益	(オ)
	<u>()</u>		<u>()</u>

資 料				
① 素材	期首棚卸高	¥400,000	当期仕入高	¥2,400,000
	期末棚卸高	¥580,000		
	素材の消費高はすべて製造直接費である。			
② 工場消耗品	期首棚卸高	¥32,000	当期仕入高	¥248,000
	期末棚卸高	¥36,000		
③ 賃金	前期未払高	¥850,000	当期支払高	¥4,560,000
	当期未払高	¥790,000		
④ 給料	当期消費高	¥600,000		
⑤ 外注加工賃	前期前払高	¥85,000	当期支払高	¥340,000
	当期前払高	¥75,000		
	外注加工賃の消費高はすべて製造直接費である。			
⑥ 電力料	当期支払高	¥155,000	当期測定高	¥165,000
⑦ 減価償却費	当期消費高	¥285,000		
⑧ 製品	期首棚卸高	¥650,000	期末棚卸高	¥550,000
⑨	製造間接費は予定配賦されている。			

【計算用紙】

【計算用紙】

【計算用紙】

